

分野	授業科目	単位(時間)	進度	担当
専門基礎分野	看護と形態機能学	1 (15)	1年後期	西山由美 実務経験あり
科目目的	人体の構造と機能の知識を生活者としての人間にあてはめ、からだの構造と機能を使って日常生活を営んでいるかを学ぶ。			
科目目標	日常生活行動に関連した人体のしくみと働きを理解する。			
単元名	教育内容	時間	教育方法	担当
1. 人体	1) 人体の構造のイメージ化(臓器のペインティング)	2	演習	
2. 食べる ～ トイレに行く	1) 食欲・食行動 2) 咀嚼・飲み込む(嚥下) 3) 消化と吸収 4) 排泄(排便)	4		
3. 動く	1) 生活行動のメカニズム (1) 姿勢を保つ (2) 立つ、座る (3) 起き上がり、歩く(移動) (4) つまむ (5) 表情 2) 運動のメカニズム (1) 随意運動と不随意運動	2		
4. 息をする	1) 息を吸う・息を吐く 2) ガス交換	2		
5. 話す・聞く・眠る	1) 話す・聞く: 声を出す・聞く・言葉 2) 眠る: 人はなぜ眠くなるのか・からだのリズム	2		
6. 清潔行動	1) お風呂に入る: 垢を落とす・皮膚と付属器 皮膚と粘膜・温まる	2		
7. 試験		1		
テキスト/その他の教材	看護形態機能学-生活行動から見るからだ-(日本看護協会出版会) 楽しく学ぶ!看護につながる解剖生理(照林社)			
評価方法	筆記試験・レポート・成果物等から総合的に評価する。			